



# 曾谷の風

学校教育目標『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち

市川市立曾谷小学校  
校長 田部井 伸郎

→爽風学園ブログはこちら

→学校ホームページはこちら

曾谷っ子の合言葉

「元気・本気・勇氣」～3つのキを育てよう～



## 音楽発表会・曾谷フェス

9日(土)の「曾谷っ子音楽発表会」には、たくさんの保護者の皆様にお集まりいただきありがとうございました。子どもたちは緊張しながらも、立派に合唱や合奏に取り組むことができていましたね。お子さんの日々の練習の成果、また日々の成長を感じることができたでしょうか。HPには、前日の「校内音楽会」の様子もアップしていますので、ご覧ください。

次回お子さんの活動を見ていただく機会は、少し期間が空いてしまいます。年が改まってから、6年生は2月28日(金)、1～5年生は3月7日(金)となります。よろしくお願いいたします。



また、音楽発表会の午後の「曾谷ふれあいフェスティバル」はPTAの皆様による主催で大盛況でした。子どもたちが思いっきり楽しんでいる様子が伝わってきました。

コロナ禍による5年間という長期間の中断となり、仕事の引継ぎも手探りの中での実施となりました。これまでの準備は本当に大変だったと思います。このご苦労はきっと子どもたちにも伝わったものと信じています。

本当にありがとうございました。

## 読書週間

秋は、「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「芸術の秋」など、色々なことをするのにとてもよい季節です。その中でも「読書の秋」を忘れてはなりません。子どもたちにはぜひ「読書の秋」を楽しんでほしいです。

読書は教育的な観点から素晴らしいものであることに、どなたも異論はないと思います。読書のメリットを私なりに挙げてみると、子どもたちが言葉を学べる、読む力・書く力がつく、感性を磨ける、知識を得られる、集中力がつく、表現力を高められる、想像力を豊かにできる、人生をより深く生きる力を身に付けていく等です。デメリットは…、思いつきません。



新聞（11月5日付「読売新聞」）でも、第1面で「学校読書調査」の結果が出ていました。「本を読むことは大切だと思う」小学生は91.7%、「本を読むことが好きな」小学生は82.3%、「1か月に本を1冊以上読んだ」小学生は90.7%だったそうです。予想以上に高い結果が出たと思っています。つまり子どもたちは、大人が思っている以上に本を読むことが好きだと言えそうです。

本校では、本日11月12日～22日までを「秋の読書週間」と定め、子どもたちが本に親しみ、読書の楽しみを味わえるよう、様々な取組を実施します。



「りんごの棚」は、特別なニーズのある子どもを対象とした公共図書館サービスとしてスウェーデンで始まりました。紙に印刷された資料だけでなく、様々な形式の資料や読書を支援する道具があります。1つの場所に集めることで、子どもが自分に適した資料に出会える手助けをします（「図書だより11月号」より）。

### 【曾谷小イベント】

- ① お話給食（「ぐりとぐらとすみれちゃん」より「かぼちゃのコロッケ」、  
「ルラルさんのごちそう」より「魚料理」、  
「からすのはんやさん」より「チョコパンorメロンパン」、  
「こまったさんのオムレツ」より「納豆オムレツ」）



1F 保健室前の給食掲示板

- ② ブックス委員による大型絵本読み聞かせ
- ③ 読書クイズ
- ④ 先生方のおすすめ本の掲示
- ⑤ 「ぶくぶく」による読み聞かせ（15日（金）の朝）

### 【東国分爽風学園 3校合同イベント】

- ① 爽風学園文庫（ブックス委員が選んだ本を貸し合う）
- ② しおりづくり（ブックス委員が作成したしおり）
- ③ りんごの棚の案内

また「読書バリアフリー体験セット」が文字・活字文化推進機構さんから、「布の絵本」が中央図書館さんから貸し出しされることになっています。届きましたらまた紹介させていただきます。

### お知らせ欄

○「ヘルシー講演会」に保護者のご参加を！：12月13日（金）13:40～本校の体育館で「ヘルシー講演会」を行います。テーマは「睡眠」で、講師に東洋羽毛株式会社（日本で最初に羽毛ふとんを製造販売した会社）の方をお招きします。

児童は4～6年生対象ですが、保護者の皆様にも是非聞いていただきたく、保護者席をご用意します。ぜひご参加くださいますようお願いいたします（学校から案内文書を出します。QRコードからの応募となります）。